

「日南線活用に関する検討会」における2022年度の取り組みについて

1. 検討会の取り組み概要

日南線を持続可能な線区とするための活用策を検討・実行し、多くの方々に選ばれる交通手段になることを目的として、2022年度は「日南線活用に関する検討会」を計3回開催し、線区のご利用実態に関する情報共有や意見交換などを行いました。

また、ご利用状況を改善するため、JR日南線利用促進連絡協議会や沿線自治体等において様々な線区活用策が実施され、多くの方にご参加いただきました。

2. 出席者

宮崎市、日南市、串間市、志布志市、宮崎県、鹿児島県、国土交通省九州運輸局、九州旅客鉄道株式会社

3. 主な線区活用策（JR日南線利用促進連絡協議会及び沿線自治体等による取り組み）

福島高校と連携した利用促進イベント

福島高校と連携し、高校生だからできる利用促進策を考えてもらった上で、事業費の一部を補助して実際に実施してもらいました。

・JR利用者:31名

【福島高校生と行く青島アドベンチャーツアー！】



日南線を活用した職業観を育む事業の推進・支援

学校教育における社会科見学等における鉄道利用を推奨し、運賃の補助を行いました。

・JR利用者:120名(3校)



日南線団体利用への支援

日南線の駅(南宮崎～志布志)を起点又は終点として鉄道を利用する沿線4市の市内団体に対し、運賃全額を助成する事業を実施しました。

・JR利用者:1,164名(42団体)



つながるマルシェ

志布志駅での「ぼっぼマルシェ」及び串間駅での「よかむんマルシェ」を同日開催し、日南線を使って各会場へ訪問された方に特典を付与し、利用促進を図りました。

・参加者：2,800名(うち、JR利用者約30名)

【ぼっぼマルシェ】



【よかむんマルシェ】



日南線を活用したツアーへの支援

日南線を活用したツアーに対する補助を行ったほか、鉄道を利用して地元のイベント等に来場した方に対し、イベントに合わせたグッズ等をプレゼントしました。

・JR利用者：289名

全体

この他にも「乗り方教室」や「my route を活用した日南1デーフリーパス」など10件の線区活用策を実施し、イベント等を含めた全体の参加者等は約7,000名、うちJR利用者は約4,200名でした。

4. 2023年度に実施予定の主な線区活用策

今年度は以下の活用策の実施を予定しています。今年は、日南線全線開業60周年の年です。引き続き、日南線の更なる活性化にご協力をお願いします。

- ・沿線で開催される各種イベントとコラボした利用促進策の推進、実施
- ・日南線全線開通60周年記念事業
- ・小中学校や幼稚園、老人クラブ等の活動を対象とした日南線団体利用への支援